



毛呂山中だより



【学校教育目標】「夢をもち世界にはばたく毛呂山の子ども」 自ら学び 共感し 行動できる生徒
 【目指す学校像】「一人一人が輝く学校 地域と共に歩む学校」 文責 前田 伸吾

「挑む」「拓く」「和」

・新しいことに挑む ・自らの可能性を拓く ・和をもって共に歩む
 学校を目指して

令和7年も残りわずかとなりました。保護者の皆様、地域の皆様には、2学期中にもたくさんのご協力とご支援をいただきました。皆様に見守っていただきながら、子どもたちは安心して学校生活を送ることができました。心より感謝申し上げます。本日通知表をお渡しします。通知表は、子どもを伸ばすための資料です。お子さんの学校での頑張りをお知らせするための資料です。結果だけをみて、「よかった」「悪かった」ではなく、子どもの頑張りを是非認めてほしいと思います。大人もそうですが、ほんの小さなことや些細なことでも、認めてもらったりねぎらってもらったりすると、自信や次への意欲となります。2学期の通知表が次につながるものとなるようよろしくお願いいたします。

さて、話は変わりますが、今回は今年最後の学校だよりなので、過去のエピソードを元に思っていることをお伝えします。ある学校で、休み時間に教室にお邪魔した時のことです。子どもたちは、いつもと変わらぬ笑顔で迎えてくれたのですが、机に腰をかけて談笑している子どもがいたので「そこは座るところじゃないよ」と声をかけました。すぐに机から降りてくれたのですが、その子どもはこう言いました。「だって担任の先生がやっていました…。」この言葉を聞いて私はハッとしました。子どもは大人の姿をよく観察していてまねをする、そのことをその子どもたちは教えてくれたのでした。以前、読んだ本にアメリカのドロシー・ロー・ノルトさんが書いた「子どもが育つ魔法の言葉」を思い出しました。そして下記の詩にも出会いました。題名は「子は親の鏡」ですが、

私は「子は大人の鏡」だとも捉えることができると思います。私たち教職員は、子どもたちと多くの時間を共有している大人の一人です。ここに書かれていることがすべての子どもに当てはまるわけではないですが、子どもは大人の姿勢や生活する環境によってその成長に大きな影響をえているのは間違いないと思います。保護者や学校の先生、地域の方が、それぞれの立場から子どもを大切に思い愛情をもって接し、子どもたちの健やかな成長につなげていきたいと思っています。

最後になりましたが、来る年が皆様にとってよい年となりますことをお祈り申し上げます。

子は親の鏡

ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる
 とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
 不安げな気持ちでいると、子どもも不安になる
 「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
 子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
 広い心で接すれば、キレる子にはならない
 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
 やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
 和気あいあいとした家庭で育てば 子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

1月の主な行事予定

1月1日(木)	元日
4日(日)	やる気アップデー
7日(水)	3学期始業式 避難訓練 小中一斉下校
8日(木)	登校指導 給食開始 自転車点検
9日(金)	専門委員会⑨(3年生最終)
11日(日)	毛呂山町二十歳のつどい
12日(月)	成人の日
13日(火)	実力テスト(全学年)
15日(木)	小中一貫教育中学校見学(毛呂山小) 学力アップ教室
20日(火)	2年生修学旅行
21日(水)	2年生修学旅行
22日(木)	私立高校入試中心日 2年生修学旅行
23日(金)	私立高校入試中心日
27日(火)	生徒朝会(給食委員会) 小中一貫教育合同研修会(毛呂山中)
28日(水)	3年生三者相談
29日(木)	3年生三者相談 学力アップ教室
30日(金)	新入生保護者説明会



A組毛呂山特別支援学校交流会など



1年生社会体験チャレンジ

働くことや仕事について学びました

11/26(水)~28(金)の3日間にわたり、1年生が職場体験学習を行いました。これは、本町がキャリア教育の一環として行っているものです。働くことについてより深く考えるとともに、地元である毛呂山町の良さや温かさを感じながら、豊かな体験活動の一環として実施しました。こうした職場体験の趣旨をご理解いただき、毛呂山中学校区を中心とした32ヶ所の事業所等に生徒の受入についてご協力いただきました。誠にありがとうございました。生徒の感想をいくつか紹介します。

<町役場等での体験をした生徒> 2つの勤務先で様々な種類の仕事を担当しました。それぞれの活動を通して“働くときにはどんなことを考え、何を優先して働くべきか”について、少し学ぶことができたと思います。また、それぞれの事業所で担当の方が教えてくださったこと、特に働く上での考え方についてのお話を通して、自分の仕事が誰に届くか、誰の役に立つか、その人たちのために何に気をつけて何をすべきか、をよく考えながら働くべきだということを学びました。

<酒造での体験をした生徒> 私が行った事業所では座って同じことを繰り返し行い、お酒をビンに入れていきました。私は体を動かすことが好きなので少し退屈になってしまいましたが、実際にやってみるとでかいビンとかは、とても重く疲れました。このチャレンジを通して、あいさつと返事の重要性を実感しました。あいさつを朝入ってきたときに大きな声でしてくれるとみんなが今日も顔晴ろうと思いました。3日間、仕事を体験するのはとても疲れました。両親が毎日一日中仕事していて、家では家事をされていてすごいなと思いました。なので、家では手伝いを自分からしたいと思いました。

<美容室での体験をした生徒> 実際に3日間行ってみて、美容師のどういう所が大変かなどたくさん感じる事ができました。美容師という仕事は、一日に何人ものお客さんが来るのに誰に対しても丁寧に接するのが大変だなと思いました。しかし、同じ事をていねいにやることはどの仕事でも大切なことで不可欠なものだなと今回の3日間を通して感じました。最後に、どの仕事も私たちが想像している事と違う裏の仕事があって、それがあってこそ仕事が成り立っているんだなと考えました。今回の経験を大切に「仕事」をいろいろな見方で見ていきたいと思います

